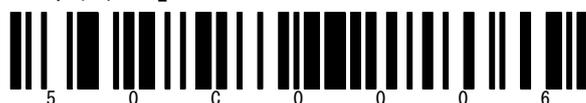


LS2208シリーズ 設定用バーコード クイックメニュー  
サフィックスの設定

対象機種	LS2208-SR20111-USB
説明	取扱説明書に記載されている内容から、よくお問い合わせいただく設定をまとめたものです。
内容	バーコードデータの後に出力する「サフィックス」を設定します。
設定方法	バーコードリーダーで上から順番にバーコードメニューを読み取ると設定されます。

1. バーコードデータの後にENTER (CR/LF) を出力する

「サフィックス」



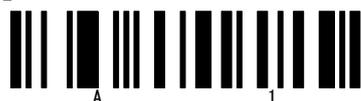
「7」



「0」



「1」



「3」(ここで一度設定が終了します)



「スキャンオプション」



データ転送フォーマット <データ><サフィックス>

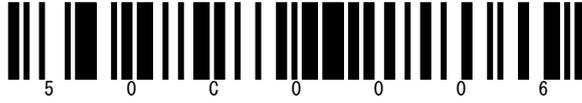


「Enter」(設定が終了します)



## 2. バーコードデータの後にTABを出力する

「サフィックス」



「7」



「0」



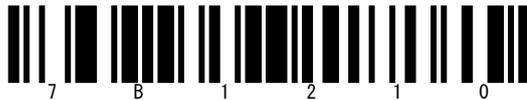
「0」



「9」(ここで一度設定が終了します)



「スキャンオプション」



データ転送フォーマット <データ><サフィックス>



「Enter」(設定が終了します。キーボードの ENTER という意味ではありません)

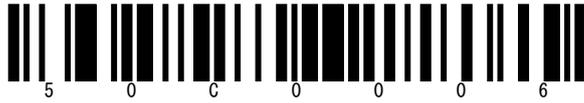


### 3. バーコードデータの後Right Control Key(実行キー)を出力する

※Right Control Key は一部のエミュレータなどで使用されるキーです。

通常の Windows アプリケーションでは無効です。

「サフィックス」



「3」



「0」



「0」



「0」(ここで一度設定が終了します)



「スキャンオプション」



データ転送フォーマット <データ><サフィックス>



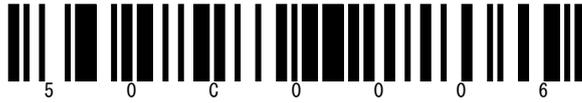
「Enter」(設定が終了します。キーボードの ENTER という意味ではありません)



#### 4. バーコードデータの後Numeric Keypad Enter (テンキーのEnter) を出力する

※Numeric Keypad Enter はアプリケーションがアルファベティック (文字) 側の Enter と  
区別している環境で有効です。

「サフィックス」



「6」



「0」



「5」



「8」 (ここで一度設定が終了します)



「スキャンオプション」



データ転送フォーマット <データ><サフィックス>



「Enter」 (設定が終了します。キーボードの ENTER という意味ではありません)



5. バーコードデータの後にも何も出力しない

「スキャンオプション」



データ転送フォーマット <データのみ>



「Enter」(設定が終了します。キーボードの ENTER という意味ではありません)

